

## 【サラリーマンが現代の奴隷であることについて考える】

※28ページから編集後記になります



思わず膝をつく、ショッキングなニュースです。

残念ながら、仮想通貨市場の“自由”は、完全に消滅しました...

【美人すぎる資産10億円のリバータリアン仮想通貨オタク女子とは？】

⇒ <http://directlink.jp/tracking/af/1497912/aGJgCtqd/>



どうもゆうです！

読者さん、こんにちは！！

さて、今日は

【サラリーマンが現代の奴隷であることについて考える】

という号です。

というのがやはり「自分で稼ぐ」という意義というか

考え方って

「なんか労働者のサラリーマンって奴隷っぽいな・・・

もっと自由に自分なりに生きたい」

というところから来ると思うんですね。

ちなみにこの

「サラリーマンが現代の奴隷である」ってのは

世間的には

「言ってはいけないこと」であるというのも

私は理解してるのだけど

ただ今の私より若い20代とか10代の人も

このメルマガを見てくれてるから

やはりこういう世間一般とは外れた少数派の意見も

知っておくべきだと思うので、

そしてそれこそがまさに稼ぐためのすさまじい強い動機

エネルギーになるので今号で改めて書きたいと思います。

編集後記で！



【美人すぎる資産10億円のリバータリアン仮想通貨オタク女子とは？】



さて、昨日から開始したこちらの案件ですが人気ですね～～

今回の清水さんですがかなり有名な女性なので

読者さんもお存知ですが

暗号通貨投資オタクの女性で、かなり詳しい方で

よくインタビュアーでも出ている方なんです

私も今回の案件まで知らなかったんですが

なんと彼女資産10億円超えらしいです・・・(笑)

⇒ <http://directlink.jp/tracking/af/1497912/aGJgCtqd/>

ちなみにこの業界の起業家とか投資家とかで資産1億円超えてる人って

結構普通だったりするんだけど

最近は暗号通貨やICO なんかの情報が相当インフォ業界で

エッジの利いた情報が入るようになっていて

ラインアットやメルマガでも情報取得が以前と比べて

かなり簡単になってきているので

今資産10億円とか越える起業家投資家が2017年くらいから  
どんどん登場してきているんですね。

そしてよく「俺なんかまだまだだしな」なんて言ってる  
男性は多いわけですが

やっぱり女性は強いですよ。

男性の多くが「口座開設できません」とか言っている間に  
女性は資産10億円築き上げてたりします。

⇒ <http://directlink.jp/tracking/af/1497912/aGJgCtqd/>

それで・・・今回登録した後に、贈られる動画っていうのが  
かなり読者さんのマインドっていうか

考え方に「大打撃を与えるだろう」

と私は思っていました

というのが、

「インフォの暗号通貨業界で生徒に何千万円何億円稼がせてる

~~~~~  
主要な暗号通貨塾の講師たちとの対談動画」  
~~~~~

ってのが、あるんですね。

具体的には

有名人の

★☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

ザ・仮想通貨コミュニティ

仮想通貨の伝道師

太陽さん

×

美人過ぎる仮想通貨オタク清水聖子

の対談動画

★☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆





億万長者専門学校代表

クリス岡崎

×

美人過ぎる仮想通貨オタク

清水聖子



NO1 ICO コミュニティ

ICO クラブ代表

酒井公坊さん

×

美人過ぎる仮想通貨オタク

清水聖子



などなど・・・

私のメルマガで案件扱ってきた人々と

清水さんの暗号通貨における対談動画がもらえますので

いわゆる「情報価値」がめちゃくちゃ高いので

ぜひちょっと 大学とかの授業だと思って

それを無料で受けられるみたいな感じで

見てみてください。

⇒ <http://directlink.jp/tracking/af/1497912/aGJgCtqd/>

それで個人的に特に見てほしいのが

**HERO S** クラブ代表

仕手情報公開屋・クジラ代行

黒田公二さんと清水さんの対談動画ですかね。

実は私ゆうも去年この黒田さんの **HEROS CLUB** は

経費で入らせていただきまして

実際に塾で勉強させていただいてるんですけど



はっきりいって

「超勉強になる」んですね。

私は暗号通貨とICOのポートフォリオ構築とか

教えてもらいましたが

たぶんグーグルとかではネット上で入ってる人の

ちゃんとした声って出てこないと思いますが

(HEROS CLUBの場合は仕手のICO案件があるため

守秘義務あるんでICOなどの銘柄名は書けないので)

まあすごいしっかり運営されていて

相当DDが入った巷で知られていないICO情報が

まわってくるので

個人的には今年ICOで仕込むために情報として

すごい活用させていただいてるのが黒田さんの

HEROS CLUBです。

それで今回は運営もこの辺も関わってるということで

対談動画入ってますので

今回の清水さんの案件、

かなり稼ぐ人は続出するんじゃないかな??

---

と思いますよね。

⇒ <http://directlink.jp/tracking/af/1497912/aGJgCtqd/>

それで今回の清水さんですが

女性は強い、ということは今号で書きたいのですが

彼女が強烈におっしゃってるのが

「国家に頼ることなく自立した人を作り出すのだ！！」

---

ってことなんですね！！！！

この思想・・・実は私と全く同じなんだけど

実を言うとこのインフォ業界の力の牽引になっているのが

そうまさに

リバータリアン思想なんですよ。

リバータリアン思想は PDF に以前まとめているけども

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【ゆう PDF】

アメリカの若者の間で勢いを増す

「リバータリアン思想」とは何か？

⇒ [http://fxgod.net/pdf/seijikeizai/libatarian\\_us.pdf](http://fxgod.net/pdf/seijikeizai/libatarian_us.pdf)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

副島隆彦なんかが日本に輸入した思想だけど

もう若い30代あたりの起業家や投資家の間で

このリバータリアン思想というのがどんどん

支持されてきていて

アメリカでリバータリアン思想のやつらがトランプ大統領を

作り出したように

どんどんと、日本でもこのリバータリアン思想ってのが

インフォ業界で育ちだしているということが分かると思います。

それで今回の清水さんですが

「国家に頼ることなく自立した人を作り出すのだ！！」

ということで今回の

中国も絡めたプロジェクトで

「想源プロジェクト」というのを立ち上げているのですが

これは私は思想として

「国家には依存しない、金稼ぎも会社組織などに依存しない！

自分自身で稼いでなんとか生きていくのだ」

という強烈なリバタリアン思想を理念としておいてるので

かなり注目しております。

⇒ <http://directlink.jp/tracking/af/1497912/aGJgCtqd/>

それで前号で書きましたが

なんでもあの「サトシナカモト」の論文が公表される30年前に

暗号技術の研究と推進を裏で行っていた

「サイファーバンク」っていう

団体がいるんです。

このサイファーバンクの1人が暗号通貨の盛り上がりを

みせていた中国にわたって

そこで貧困に悩む中国の小さな村があったらしいんですね。

ここで「ある方法」を伝えた。

中国といえば私なんかは上海なんかは何回も行ってますが

本当に都市部はすごい発展を見せております。

それで最近だと大連なんかもすごいでしょうし

北京もこれまたすごい発展ですよ。

それでまだまだ地方の発展はこれから、というところで

中国の地方の人間は都市に簡単には行けなかつたりするので

やはりまだまだ都市と地方の格差ってのは中国に存在しますよね。

ただ地方もどんどん豊かになっている。

それで 地方でも特に貧困に悩む小さな村があったらしくて

そこに5000人の人間にこのサイファーパンクの1人が

独自に暗号通貨を使った「ある方法」を伝えたのですが

なんと、その中国の貧困に悩む地方の村人5000人全員を

~~~~~  
「資産1000万円元」=日本円で約1億7000万円

~~~~~  
まで導いたんです。  
~~~~~

この5000人が後に中国では

「想源(そうげん)」と呼ばれて

世界各国でまさに今暗号通貨で中華勢の力となっていて  
今では彼らの資金がある種の「クジラ」となって市場に  
強烈な影響力を及ぼしているわけです。

それで今回このアジアの中国という国で奇跡を生み出した  
プロジェクトがついに日本に上陸することになりまして

完全放置で資産1億円に膨れ上がる仕組みを完全に公開することが  
決定したということです。

⇒ <http://directlink.jp/tracking/af/1497912/aGJgCtqd/>

それで今回の案件なんですけど

ずばり言うと

「アジアプロジェクト」なんです。

私のメルマガで

「もう欧米中心の世界観は終わりを告げて

これからはアジア中心の世界になっていく」

ということをずーっと何年に渡って書き続けてきたのですが

もうインフォ業界も「アメリカから来た情報をそのまま編集して

はい公開」とはならなくなっていて

日本のインフォも

~~~~~  
中国勢とか香港勢とかとくつついて

~~~~~  
独自にアジア人たちで裕福になっていくぞ

~~~~~  
という動きになってきております。

⇒ <http://directlink.jp/tracking/af/1497912/aGJgCtqd/>

ちなみに、対談動画の太陽さんの塾も私は入っていて

あとFXの塾とか株の塾とか私結構数え切れないほど塾で

学んでいるんだけど

(なんせ時間があって

お金もマレーシアだと使い切れないので

何か学んでいないとつまらないです)

特に太陽さんの塾なんかでも相当8月組の私でも

私は儲かりましたが

この太陽さんなんかも情報精査チームを

中国とかに置いてるんですよ。

私が実は太陽さんの塾に入ろうと思ったきっかけが

思想の偏りがないオープンな方なんですよね。

普通はアメリカ重視でそっちばかりに言うのだけど

まさに「欧米か！！」というタカ&トシの突っ込みが

10年位前に流行したものだけど

まだその傾向持ってる人って日本に、

特に英語しゃべれない人に多いんですね。

ただ英語しゃべれる人はアジアのいろいろな国の人と

英語でコミュニケーションして

「こいつらめちゃくちゃ頭良いやつ多いじゃんか……

俺もやべえな、このままじゃ」

と何かしら思ったりするものなんだけど

だからアジアの強さってのは英語話せる人たちってのは



日々のアジア人たちとのコミュニケーションでよく理解してるんです。

例えば、

中国で教育受けてる層で英語のニュースが分からないって人

あまりいなかったりしますが、

日本だと留学していても英語ニュースが分からない人は多いです。

それで中国系って情報がかなり強くなっているってのが

この数年出てきてる傾向でして

まさにその中からフォーブスに載っていないような

スーパー富裕層ってのがいて資産数兆円みたいのがうじゃうじゃ

いるんですよ。

それで太陽さんなんかはその辺のグローバルな感覚をよく

分かっている人だ、と判断して私は塾に入ったんだけど

その太陽さんと清水さんとの対談音声もおススメです。

⇒ <http://directlink.jp/tracking/af/1497912/aGJgCtqd/>

だから今アジアを動かしているのは

「リバータリアン思想×強大になってきているアジア経済」

なんですよ。

それがすごい分かってくると思います。

それで今回はプロジェクト名がまさに漢字で

「想源」となっているんだけど

超面白い案件だな、と個人的には思いました。

それで今回は全世界を富裕層に、という感じというよりは

「アジア全体で金持ち増やしていくぞ！！」みたいな

アジアが一体化したプロジェクトでして

とりあえず今回は清水さんなりが表に立って

多くの力ある金持ちが支えていくんだけど

まず日本で公開して、

次は

香港⇒シンガポール⇒インドでのそれぞれの国の言語に

対応して行っていく予定なんですね。

だからアジア全体で金持ちを増やしていく

という思想がありまして

それが日本から出てきた、っていうのが面白いんですよ。

⇒ <http://directlink.jp/tracking/af/1497912/aGJgCtqd/>

それで、日本って政治は税金ばかり取って

どうしようもないというのは

みんな分かっていることだけでも

ただ 役人の政府と、民間企業ってのは全然日本では

違って切り分けて考える必要があって、

私は民衆と書くけどやはり日本の民間は

やっぱり爆発的な力を持っていると私は思います。

なんだかんだ暗号通貨市場を牽引してきたのは日本市場だったし

もちろんコインチェック問題とか色々ありましたけど

例えば今のアメリカ経済って世界一だけど

その債券市場を買い支えてあげてるのはどの国だ？

っていうと日本なんですよ、結局。

それでこれは日本の政府が優秀とかそういうことではなくて  
日本の政府や官僚は無能なんだから

やはりここで色々規制されてもしっかり利益あげていく  
民間企業や個人たちってのがいて  
この人たち民間がすごいのが多いんですね。

これはたぶん「オタク」と書いてるけども  
この「オタク」の気質がそれだと思ひまして

何かあったら「オタク的に」徹底的に掘り下げるってのが  
日本人の特徴ですね。

普通は他の国だったらある程度知識はあるけど  
掘り下げる人って人数は限られているから

やはり限定的な人数だけど日本人の場合は  
オタク的気質で掘り下げる人の割合が極めて高いんです。

たぶんこの辺が日本の民間の強さなんだろう、と思います。

それを必死に官僚や政府が押さえつけてるって感じでしょうか。

それで私が海外にいて感じるものがあって

以前も書いたけど HONDA の CITY って車はマレーシアでは  
すごい人気だし、あとは日産のアルメーラなんかもすごい人気。

そして同じコンドミニアムの中で話した

サウジアラビアの社長さんなんだけど

暗号通貨の話をしたら

「サトシナカモトは日本人なのか、誰なのか」

というのも聞かされたくらいです。

やはりだから日本というのは影響力を発揮できる国なんだろう

と私は海外にいて感じるのだけど

暗号通貨の分野では早くもアジアで先んじて

「国家に依存しないで自分で稼ぐべきだ」

という思想が

日本から出てきてこうやって案件化されてきてるわけで

それは大変面白い現象なんです。

⇒ <http://directlink.jp/tracking/af/1497912/aGJgCtqd/>

それで・・・今回の案件なんだけど

前号の広告文件名でもありましたが

「残念ながら、仮想通貨市場の“自由”は、完全に消滅しました...」

とありますが

要するに本当の自由主義者たちってのが作り上げてるのが

この暗号通貨業界なんですね。

やはり「非中央集権思想」ってのがあって

それはリバタリアン思想でもあるけど

「非中央集権思想、反官僚思想、反税金思想」

なんですよ。

だから実際に私は塾に入っていて分かるけど

みんなコインチェックが国家にうまいようにやられて、

それで仮想通貨団体設立という大企業と官僚の利権団体

設立になった

という政治的背景も知っていて塾生には教えているものだし

やはりこれが本当の知識なんですね。

みんな富裕層たちは冷静に見ている

仮想通貨団体設立で暗号通貨業界が安全になる

なんてマスコミのいうプロパガンダは信じていないです。

「ただ、それはあんたら大企業や官僚たちが利権を  
作り上げたということだろう！」

とみんな、本当は知っている。

この人たちは私が書く特別会計のことなんかも良く知ってる人たち  
ですから。

ただそのカウンター動きとして

「まだまだこういう稼ぎ方でこれからも勝負できるぞ」

というのを今回は提示しているんですね。

だから面白いと思います！

⇒ <http://directlink.jp/tracking/af/1497912/aGJgCtqd/>

それで私なんかは最近マレーシアで見ている番組が

このインフォ業界の色々なプロモーション動画だったりするんだけど

一方日本のテレビ番組は出川さんの充電バイクのやつとか

特定のやつしか見ませんが

やはり見る映像も考えていくといいと思います。







★☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

NO1 ICO コミュニティ

ICO クラブ代表

酒井公坊さん

×

美人過ぎる仮想通貨オタク

清水聖子

★☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

などの対談動画も大変読者さんにとって

勉強になると思いますので

ぜひ「暗号通貨関係の動画で自己洗脳」していただければ  
と思います。

そうしたら実際にチャンスは広がると思いますし

資産も増えて自由はどんどん広がると思いますね。

やはりこの業界はなんだかんだ

日本で一番面白い業界だと思います。



思わず膝をつく、ショッキングなニュースです。

残念ながら、仮想通貨市場の“自由”は、完全に消滅しました...

**【美人すぎる資産10億円リバータリアンの仮想通貨オタク女子とは？】**

⇒ <http://directlink.jp/tracking/af/1497912/aGJgCtqd/>



=====編集後記=====

さて、ここ最近ですが上の清水さんの案件でもそうだけど  
「自分で自立して稼ぐのだ」というメッセージを持った案件が  
とても多いですね。

しかしその対立概念として、日本ではそれが主流だけでも  
「良い会社に入って良い給料もらって  
労働者として何も疑わず生きていきましょう」  
みたいな考え方があるわけです。

このお金を稼ぐという分野において思想の対立というのが  
実際は今どの国でも IT の誕生で起こってきているのですね。

それで私は政治経済や哲学を副島隆彦からも学んで  
(私は氏の弟子で認定ももらいました)

また、自分でもサラリーマンというのをやってきて  
今は投資やビジネスで自立して海外に住んでるという状況なのですが  
やはり私の場合は労働者を経験してきた人間ですので  
この「サラリーマンは現代の奴隷である」というテーマというのは  
100人中100人に批判されても  
重要なテーマだと私は思っているんですね。

というのは2年位前からだけど10代や20代で使われだしている言葉があってそれが「社畜」という言葉だけど

これが出てきたのはやはり 現代のサラリーマン制度というのはどうも奴隷っぽい・・・と感じ出した人が急増しているということの意味しておりまして、

そこから脱却していこうという民衆の動きがあるんです。

私はこの動きをととても大事な民衆本位の動きだと思ってるからやはり サラリーマンを肯定する概念とは対立している「自分で自立して稼ぐ」というのは大事な考え方だと思うんですね。

それでこの「サラリーマンとは現代の奴隷だ」という話は私は実はメルマガで2010年くらいから定期的にかけて書いていて、当時はよく「立派な大企業勤めと思われる管理職の大人」からお叱りをいただいていたわけです。

まだ当時20代でしたから20代の若造が何言ってやがる、くらいの感じだったんでしょう。

要するに社会の主流な考え方として

サラリーマンは日本経済に貢献している素晴らしい職業だ  
というのがあるのだけでも

その主流とは違う考え方をちょっとでも表明しようものなら  
その人は村八分になるというのが日本社会の特徴としてあり

そしてそれは相互監視によって成り立つのだけでも  
そうやって言論表現の自由という憲法21条に保障された  
民衆が民衆利益を考える機会を得るための権利の行使というのは  
できなくなっていたわけです。

が、最近が変わってきた。

どうも若い人中心に暗号通貨という非中央集権思想が理解されだしたし  
社畜という言葉も出てきて、  
いよいよ多くの人がこのままサラリーマンをしていて大丈夫だろうか？

と疑問を抱きだして 価値観の修正を迫られているわけです。

私たち日本人は

散々小学校や中学校や高校で 労働者になることが正しいと  
教えられてきたわけだけど

ここでやはり私たちが

「そもそもサラリーマンとはなんなのか？」というのを考えるのは  
大事だと思いますよね。

それで、サラリーマン論というのは

ヨーロッパのローマ時代の話でも説明できるし

また日本の士農工商なんかの身分制度でも説明できるのだけど

ローマ時代の話が分かりやすいからよく引用するのですが

まずローマ帝国時代には「階級」というのがあったんですね。

それで私たちは「市民」というとき、

大宮市民とか大阪府民とか、東京都民とか

まあそんな感じでこの「市民」とかあとは都民とか府民とか

そんな言葉を使うけど

ローマ時代にも「市民」はいたんですね。

ただ実はこの「市民」というのは私たち日本人が想像している

市民ではないわけです。

市民ってのは今でいう自営業者の人たちのことで

だから今ネットで1ヶ月何百万円何千万円稼いだみたいな

自営業者の人たちがいるけども

彼らのことを実はローマ時代では市民(平民)といたしました。

ローマ時代の「市民」というのは自分の事業を持っていたんですね。

---

だから、今で言うと不動産の大家だったり

あとは小規模事業のオーナーとなっているような

中小企業の社長や IT 系の個人事業主なんかがそれに当たるだろうけど

これがまさにローマ時代では「市民・平民」であったわけです。

そして当然今でいう自営業者が市民であるから

このローマ時代における「市民」というのは奴隷を雇っていて

---

奴隷が仕事をやっていたんですね。

---

例えば私も日本にいたときは

時々アルバイトさんとかを時給1500円とかで雇っていたけど

ここでアルバイトさんが時給1500円で何かしら

作業するわけだけど

その作業で私は実際は7000円とかの利益が出てるわけでした

これってのは実は搾取なんですね。

1時間7000円の利益出てるのにバイトさんには

1時間1500円しか私は渡してなかったから

私はとても悪いやつですね。



私はだから1500円の時給にやたら喜ぶ

アルバイトさんに

「これは搾取だから

俺は今 ○○ちゃんから搾取しているから、

早く自立したほうがいいよ」

なんてことをよく言ってたけど

その子は「え？何言ってるの??」みたいな感じだったのを覚えている。

(ただその子には私なりの思いやりは伝わってたみたいで

色々とその後すごい好意もたれてしまったことはありました。

だから本当は企業経営者はそういうことを隠さず正直に言えばいいんだと思う。)

ただ普通は自営業者とか経営者というのはこういうことを

言わないわけであって

例えば 仕事にやりがいを持とう、とか

会社の仕事をして成長していこう、とか

そういう風にキレイゴト言って

「奴隷が奴隷じゃないと思込ませることによって」

会社組織ってのは回っていきなりするわけですね。

それでローマ時代の奴隷なんかも一緒にやはり

奴隷は自分が奴隷と思っていないわけです。

それを疑う人というのも大変少数だったでしょう。

そして重要なのは奴隷というと

私たちは鞭で叩かれて、食べ物もろくに与えられず

すぐに死んでしまう・・・というのを想像するけど

それはプロパガンダのハリウッド映画の中の話であって

実際のローマ時代の奴隷というのは

子供も作ることができたし

またその子供というのは実はローマ市民になることも

できました。

これは私なんかは韓国によくいて韓国のドラマなんかを

現地で見るとその姿が描かれているものがあって

日本のドラマとかではないだろうけど

時代物のドラマだと

奴婢(ぬひ)ってのがいるんですね。

いわゆる奴隷ですね。

ただその奴隷は本当に私たちが想像する馬に乗った監視してる

人に鞭で引っぱたかれて、

食うものもほとんど与えられないか？

というと違って

韓国の時代物のドラマはその辺は史実に大して

忠実に描かれていたりするのだけど

奴婢(ぬひ)はそこでメシもある程度食ってるし

また奴婢同士の色恋の話も描写されるし

また奴婢から実際に這い上がった人間というもの

いるのだけど

そういう姿も描かれているわけです。

奴隷というけども実際の奴隷の待遇というのは

私たちがハリウッド映画で刷り込まれてる姿とは

ずいぶん違うわけですね。

それもそうで奴隷ってのははっきり言えば資本ですから

その資本が傷ついたり、死んでしまっちは

また残酷な言い方だけど「調達コスト」がかかります。

だから当然使用人は反逆しないレベルで奴隷にも  
食べ物も褒章も与えるし、

また結婚してそこで子供を産み落とせば  
新しい奴隷が誕生するわけですから

それは許すわけですよ。

現代の社会ってのはこういう話ってのがタブー化されていて  
なかなか文章として出てこないわけです。

ただこれは副島先生が時々おっしゃることなんだけど  
「人間には値段が付く」というのは事実としてありまして  
これは言うてはいけないことになっています。

しかし冷酷に「人間には値段が付いてしまう」というのが  
現代社会なわけですね。

若くてすさまじい美人がいたとしたら  
男性はその女性と一夜を過ごすために  
大金を惜しまないというのが歴史でも分かっていることで  
私たちが現代でも見る光景ですが

一方あまり容姿が良くなかったり年齢がいつたり

するとそこには上記の女性より低い値段がついてしまうわけです。

私は学生時代社会勉強のために歌舞伎町で

客引きをやっていた時期も

あったのでこういう残酷な事実も良く知ってます。

これはみんな言わない、言えないことなんだけども

それを言わせない「空気」というのがあります。

しかしその空気は言論の自由を奪う。

例えばイケメンのとてもぴちぴちした

男の子がいて元気な会話をできるホストがいれば

そこに女たちは大金を落とすわけですね。

ドンペリを注文しまくるわけです。

一方そこで不細工でトークもダメな

なんとも冴えない 相手の心情を理解する部分が欠けてる

ホストがいたら

そこにはお金が落とされないので

ここでも人間に男女問わず値段がついてしまいます。

この「人間には値段がついて「しまう」というのは

現代の 狂気の平等社会ではタブー言論になってしまってるけど

事実なんですね。

そして奴隷がいたローマ時代でも奴隷には値段がついていたわけです。

ちなみに現在では奴隷という言い方はさすがに露骨なので変更になって(言葉狩りが進んで)

「人材」というようになった。

それで当時ローマ時代の奴隷というのは売買される商品だったわけですね。

ただここでローマ時代の奴隷には問題があってやはり自分が奴隷と気づかれると支配の効率性が下がるわけです。

「奴隷の反逆」というのは必ず

その奴隷の中に優秀な脳みそを持つものが出てきて

「俺らは奴隷ではないか」と叫びだすのですね。

そしてそれが広まっていってここで反逆が起こって

奴隷制度は崩壊してしまうわけですし、

ここが為政者にとって

ローマ時代の奴隷制度の問題点として

あったんでしょう。

だから奴隷には必要な知識は与えないわけであって

読み書きなんかも制限させるわけでした

奴隷には本を読ませる、なんてことはさせないわけですね。

奴隷が知識や思想を持ち出したら怖いことになる。

大きくは無知にさせておく、というのは重要な

奴隷支配の戦略です。

それでローマ時代の奴隷支配というのがあったわけだけど

ここで為政者たちが考えたのは

「そうだ、自分たちが奴隷だと気づかない方法で

労働をさせて搾取させる方式にすればいいのだ」

ということですよ。

奴隷を効率的に働かせる方法をとっても頭の良い人たちが

考え出した。

それが実は「株式会社」の始まりなんですね。

株式会社の始まりについて

以前メルマガで書いたことがあるのでご存知の人は多いだろうけど

この株式会社というシステムの「起源」が

東インド会社という「会社」なんです。

たぶん多くのサラリーマンは何かしらの

「株式会社」の従業員であるはずなんですけど

実は株式会社システムというのは大きく言えば

~~~~~  
昔の奴隷制度が変態したものであるわけです。  
~~~~~

これは不思議なことに日本語でググっても

あまり出てこないけど英語だと出てくるんですよ。

英語だと例えば

株式会社の起源となった東インド会社について

**Less well known is that the Company also**

**played a small but significant part in the slave trade.**

「あんま知られてないけど、  
東インド会社は奴隷貿易において小さくとも  
すごく重要な役割を果たしたのだ」

ということが書かれてたりします。



実際に株式会社の起源である東インド会社は  
奴隷貿易だけではなくて  
アフリカやインドネシアから奴隷を連れてきてそれを  
まさに現代の私たちが FX で通貨の売買をするように  
トレード、したし

また彼らをどうも奴隷を商品として  
酷使したわけで

これがそもそも株式会社の始まりなわけですね。  
だから現在の従業員と呼ばれる労働者というのは

東インド会社時代の奴隷を  
従業員という労働者の権利がついてる  
新しい形に変態させたものなんだけど

本質的にはやはり奴隷制度の変質したものが  
これ株式会社という形なわけです。

だから、株式会社なりで働いていて  
なんか俺奴隷だな一社畜やなー  
俺が稼いだ生産性はほとんど役員や株主に回って  
俺には月収 25 万円しか入らないよ、

という実感は正しく、それはそもそも

株式会社の起源の東インド会社の奴隷使用の概念が

近代の株式会社運営に応用されてるとも

言えるから当然っちゃ当然なんですね。

なので好きなことを仕事にする、  
という考え方においても

それは株式会社の従業員でそれをやるよりは

その奴隷制度の外で

自営業としての立場でやる方が

やっぱ良いわけです。

アメリカ人なんかはこれ理解してるから  
好きな業種で株式会社で学んだら  
そこで独立して初めて人生をスタートさせる  
という考え方なわけですね。

それでこの株式会社というのはローマ時代の奴隷制度よりも

非常に効率的であって

そこにおける労働者という人たちは

自分たちが奴隷だという認識がなくなるわけですね。

それこそまさに今のブラック会社なんかの方が分かりやすいけど

「この仕事は給料が安いけどやり甲斐があるだろう??」

とかそういう押し付けっただけなのがあるけども

実際に就職活動の面接で採用されるのは

「この仕事の〇〇の部分でやりがいを感じたので

入りたいです」

みたいな従順な人たちがメインでしょう。

私が覚えているのが大学時代記念に就職するつもりは

なくてエントリーシートは出してみたんだけど

そこで「御社の〇〇の市場攻略は甘すぎるので

私が入ったら私がリーダーになって

その間違っただけ戦略を

全部変えて売り上げをあげてあげましょう」

ということをまあその会社の市場攻略のもろさが分かっていたので

長々と延々と力説して買って

しかもその戦略も事細かに書いてエントリーシートを

送ったわけです。

ちなみに写真は金髪でガングロという今は絶滅した

格好だったんですがそのまんまの写真で送りました。

んで、それはおそらくその大企業に

挑戦してきたとみなされたようで

当然無視されましたが、

(といってもその会社はそのあと私のその戦略を

完パクってまるっきり私が書いたとおりの戦略を真似して

日経の雑誌に特集されて売り上げを立てたんですよ。

が、思想がない付け焼刃だったのでその会社のグループは

去年破綻寸前になってます。

単なるパクりってのはそこに思想がないとだめになるってのも

実は学生時代分かっていたので、あまり怒りはありませんでした)

私は色々労働者時代に

面接というのを行ったけど自分を偽ると大体通って

本音で言うと大体落ちますよね、あれは。

ちなみにそういう建前人間で、従順な人を大量に育成するために

義務教育ってのはあるわけですね。

基本的にその義務教育に沿わずに権威に反抗的な人は

私のように社会不適合者として

社会から排除される仕組みになるわけですし、

最終的にはマレーシアに飛ばされちゃうわけで・・・(笑)

そこで従順な人たちが労働者であることを一切疑わず  
従順に労働力を企業の株主に提供してくれるわけですね。

それが株式会社というシステムであって  
やはり私はそれをはじめた東インド会社というのは  
すごい頭が良かったんだろうとも思います。

それで現代の株式会社というのは奴隷制度が変態したもの  
であるわけだけど

そこで大量に誕生したのが

「自分が奴隷状態であることを疑わない

~~~~~  
奴隷」  
~~~~~

なんですね。

これがもっとも反乱がおきにくい支配体系でして

それが特に成功しているのが日本という国だと

思います。

それでここで重要なのは労働者というのは物品と

同じく「商品」になるわけですね。

人間には値段がついてしまいます。

雇い主である株主からすれば、労働者というのはコストであって衣食住を満たせるだけの金銭さえ払えばよいとなります。

衣食住をなんとか満たせるだけの賃金というのが労働対価としてイコールだ、っていうのが

まあ世間一般の「常識」です。

サラリーマンというのは株主や社長などの役員から見れば材料費とか広告費とか光熱費とか事務所代とかと同じであくまで商品だったり、もしくは経費だったりするわけです。

そして経営者、株主というのは利益を追求するものですからそこで過剰な経費を計上することは構造上はありません。人情的にはあるけど最近では余裕がなくてもうそういう会社も減ってきました。

そしてこれも左派の人たちが気づいていないで賃上げばかり言ってるけど私がもっと本質を言いますがなぜ労働者の賃金が上がらないか？

っていうとこれは実は税務署の介入もあつたりします。

例えばその事業で売り上げが10億円立ちました。

大もうけできました。利益は5億円も出てしまいました。

社員は少数で5人です。

が、そこで経営者が

「よしじゃあ社員には普段月収30万円で

やってもらってるけど

特別ボーナスで一人当たり2000万円奮発して

あげちゃおう」

と、します。

が、これは税務上、ちょっと難しいんですね。

人件費としてそれを計上したら大体税務署から

「なんですか？この2000万円のボーナスは？」

となります。

そして「一般的に、「普通のこの業種のボーナスは・・・」」

という説教から始まり、

ここで大体ボーナスは50万円とか100万円くらいで

落ち着くわけですね。

税務署は謎に「普通」とか「この業種の基準」ってのを  
人件費計上に持ち込むわけです。

要するにここで国家を運営する官僚からしたら  
不要な、従業員の高給なんてのは押さえ込まれている  
という税務上の実態はあるのだけど

これはなぜか左派の人は言わない。

官僚の味方だからでしょう。

だから大きくは国家と大企業総ぐるみで  
ある程度の給料の上限ってのは決められていると  
見ていいですよ。

それで実態としては労働者サラリーマンというのは  
私自身がそうだったけど、

まさに奴隷扱いされている現状があって

そこでもらえる給料はすずめの涙だし、

なんとか生活を維持できるぎりぎりの給料に

押さえ込まれたりするわけですね。

少なくとも事実であるのは



労働者にとっての「給料」というのは

株主や役員からするとそれは「経費処理」の対象であって

株主からする「経費」が労働者にとっての「給料」

なわけです。

その「経費」を目当てに働かなくてはいけないのが

サラリーマンであるのだけど

構造上それはお金持ちになれるはずがない、わけですね。

ちなみに消費税が8%から10%にあがるけど

これは賛成反対抜きにしても

経営者視点だと 消費税の対象売り上げから人件費という

経費は控除できないわけで

となると税制的に必然的に「じゃあ人件費削るしかない」

という経営判断を招きますので、消費税が上がると

人件費は縮小され、その人件費は労働者にとっての給料だから

給料は減額するのは、税務上必然ですね。

そして商品というのは等価交換が基本だけど

そこで労働契約というのをみなすわけです。

ただここでも嘘があつて私は正直に上にアルバイトさんを  
雇った時の事例を書いたけど

「アルバイトさんには

1500円の時給を払って1時間当たり5000円とか7000円の  
利益が出ている」

ものなんですね。

これは事業や職種によっても違うけど

最近の IT 系はうまく構造作れば

その従業員1人雇えばその10倍とかの

利益が出たりするのが普通だったりする。

(うまく構造作れないと1500円の時給払って

1000円の利益しか出せないとなるけど

それは経営者さんの勉強不足なんでしょう)

だからここで労働契約というのを一応結ぶけど

そこでその労働力とこれから出る利益は等価、同じだ

という建前なんだけど

実際は違ってここでやはり搾取構造ってのは

あるんですね。

ただ、この搾取を完全に私は否定していません  
搾取と収奪は違うんです。

搾取は労働契約、お互いの合意を一応交わしていますが  
収奪の場合は合意も何もないわけで  
それは例えば年金保険料や税金が収奪にあたります。

ただ極めて通常の株式会社の形態はグレーというか  
社会全体の幸福増加のためには問題があるのも事実ですね。

そこでICOなんかで個人たちが集まって  
株式市場通さないで資金調達して自営業として事業やってくぞ～～  
ってというのが生まれているわけです。

それでここで労働者が自分の「とても貴重な時間」  
を「たった月間20万円くらいの報酬」  
で提供するわけですね。

しかしその労働者の「貴重な時間」は明らかに  
月間20万円の報酬より価値を持ってたりするわけですが  
ただここで「その貴重な時間は月収20万円とか30万円と  
等価なのだ」と洗脳、錯覚させる必要があります。

そのために義務教育で9年間、高校で3年間の

奴隷教育が必要になっておりまして

それが本当の義務教育の正体ですよ。

なぜやたら税金がかかる義務教育に国家官僚が金を出すか？

というところが目的でして

高校の無償化も聞こえはいいんだけど洗脳期間を延ばしたい

という為政者の本音もあつたりする。

それで私なんかの事例だと私のサラリーマン時代、

営業職をやっていたわけだけど

ノルマってのがあつたんですね。

要するにそのノルマってのは企業が出す人件費があつて

そのノルマを達成すれば完全に人件費以上の収益が

会社にもたらされるっていう類の数字です。

それで私は結構その辺は早かつたので入社して

1時間くらいでノルマは達成してたんです。

だから残り7時間くらいは

ネットでFXのチャートみたりポジション入れたり、

あとはブログ作ってみたり

FXの勉強してみたり、していたんだけど

そこで私が驚いたのが

「ノルマの件数は達成してるけどもっと沢山契約取ってきて」

と絶対に言われるわけです。

もう1日の社員一人当たり必要な収益分は達成したんだから

帰宅してもいいんじゃないかと私は考えていたけどそれは

会社では通じないわけで

「他のみんなはまだノルマ達成していないから

あなたがその代わりに頑張ってください」なんですね。

ここで私の思考は当時から自営業ですので

そんな収益を生まない労働というのはありえなかったわけで

ここでやたら周りに合わせた平等主義重視の連帯責任みたいな

ところも合わなかったし

必要以上の労働を強制されるわけですから

「これは自分で稼がないと未来がない」ということで

結果辞めたわけですけども。

それでここで重要なのが労働者、サラリーマンとして

働いていれば「他人から指図される」わけです。

何かと命令されます。

働きたくないのに働かされてしまうわけです。

そしてここで社内の従業員同士の監視があるわけですね。

私の場合は当時結構嫉妬の対象になっている、と

上司から聞いたことがあって

「あいつだけ早くノルマ達成して営業成績がよくて

けしからん」みたいな

そういう声が一部であったわけです。

要するに「みんなと違う」ということで

特に会社に忠実なほかの従業員の人が

目の敵にしてきたことはありましたよね。

それで最終的にはそういう人が役員に垂れ込んで

「彼は1時間仕事して7時間さぼってて

社内の統制が乱れるから首にしろ」

となるわけで

こうやって日本の会社ではメカニズムとして

「みんな等しく残業時間含めて

会社にずっといる」という

非効率なことがおきたりするわけです。

しかし面白いのは会社というのは生産性が上がった方が

いいし、残業代なんて出たくないんだから

そういう社員から学べ、といえればいいんですけど

日本の会社という組織は違って生産性をあげることも

内部の相互監視を優先したりするんですね。

ここでスタッフ同士を監視させてうまく従順に

奴隷のように使いたいという会社の意図があったりするわけでした

私なんかはそれを見抜いたから すぐに独立しなければ

と思ったものです。

それでサラリーマンというのは

「頑張って沢山労働したから」なんか褒美がもらえるか？

というとそうでもなくて

成果報酬があつたりはするけどそれも限られている

わけですね。

サラリーマンに成果報酬で1ヶ月1000万円支払われること

ってのはないのです。

しかし、その代わりその労働者であるサラリーマンが

月間で2000万円の利益を上げたら

それは株主の報酬となるわけですね。

だから事実として

株主のパシリが役員で

役員のパシリが従業員なんだけども

それが株式会社の形態の重要な構造です。

この構造を知っておくってのはやはり私は重要ではないかな

と思ひまして、

私が例えば小学校の教師になったら真っ先にそれを

子供たちの将来のために教えてあげるけど

たぶんすぐクビになると思ひます。

そういう意味では日本には言論表現の自由があるようで

実質は「空気」というものでそれはかなり制限されてる

わけですね。

そしてこの会社の構造事態は世界中で取られている話

であるから

それこそアメリカの企業に勤めても



中国の企業に勤めても、  
インドの企業に勤めても、

大同小異の奴隷場であったりするわけです。

もちろんグーグルなんかはすごい待遇が良かったり  
それは奴隷とはずいぶん違う感じにも見えるけど

やはり構造的に自由が相当制限されているし

そこに成果が全部自分のお金になるという部分は  
達成されませんから

やはりローマ時代の市民ではなくてそれは奴隷なんでしょう。

それでこれはアメリカ人や最近のマレーシア人もある考え方  
だけど

よく会社に「成長する機会」を求める人がおりますが  
何をもって成長というのか、ということですよね。

私は独立できることが成長だと思いますが  
なぜかこの「独立できることが成長だ」ということは  
日本では言われません。

しかしアメリカなんかは腐っても鯛で  
学生たちは最初は企業に就職するけどみな  
独立を狙うわけですね。

ウォーレン・バフェットなんかも  
労働者はほとんどやっていないでしょうが  
やはりその考え方が  
強い人でありましたよね。

それでよくネットには「学歴厨」ってのがいます。  
この「学歴厨」ってのは学歴ばかり重視する本当の意味の  
馬と鹿な人のことでありまして

(※、ちなみに馬と鹿、という言葉で書かないといけないのも  
私は「と」を抜かして書きたいけど  
これもそのまま書くとサーバーで拒否されて届かないということが  
起こる。実は多くのメールというのは迷惑メール対策という  
名のもとにおいて検閲されてる。  
この多国籍企業の実質的検閲行為に対して  
今の私たちは無力である)

実は学歴ってのは奴隷のランク付けのことです。

それを学生時代に知ったホリエモンはすぐに東大をやめたし  
ビルゲイツはハーバード大学を辞めた、わけですね。

ちなみに私はこれは過去自慢ではなくて  
文脈上事実なので書きますが

早稲田は高校からでしたけど

早稲田の高校時代は600人中上位30番に入っていましたし  
(上位30人が政治学科に入れるという仕組みでした)

また高校入試は偏差値が75くらいの海城高校っていう  
みんなほとんど東大行くようなところも結構楽勝に受かったんです。

ただここで当時学歴なんてものはあまり意味のないものだ  
とは分かっていたので 勉強したいことが学べて自由思想が強い  
早稲田の付属に

いったってのが経緯としてあるんだけど

そこで学歴重視の就職活動ってのは  
思想としてあほらしいということで  
全然大学生になってもしなかったっていう経緯があります。

ちなみに大学受験も高校受験もそうですけど  
あれは「頭の良さ」ではなくて  
単純に「どれだけ勉強したかの量」の話であって

量をやれば誰でも偏差値なんて上がるわけです。

私なんかは小学校とかの時代は

偏差値が38とか40くらいだったけど

それは量をとにかくこなせば上がるものであって

3年とか量をこなすと偏差値ってのは誰でも上がるんです。

量の問題であって質の問題はかなり小さいと思います。

そして偏差値とか学歴は全く持って

人間の頭の良さの評価基準にはならないんですね。

だから世間的には頭がよくて東大出身で官僚になっても

悪政ばかりやって組織の権益拡大にしか動かない人間は多いし

そこで思想とか難しいことを考えられないという人は

結構東大の院に行ってる様な人でも大変多いんです。

最近の日本は学歴を過剰に評価するけども

~~~~~  
それはあくまで奴隷のランク付けのことでありますね。  
~~~~~

そこで高級奴隷は東大京大出身者であるってことなんだけど

ただ彼らは就職しても公務員や官僚になっても

時間的な自由はないし、給与を自分で決める裁量権も

持たないです。

あくまでも自由を相当制限されてしまうわけですね。

一方中卒であろうと小卒であろうと

自営業者はかなりの自由があるわけですし、

分かりやすいのは中卒でグレてて

そこでやゝくざになる人がいて

彼らなんかはたぶん暴対法の後には

フロント企業で普通に商売やったりしてるけど

ベンツSクラスに乗って時間も自由があって悠々に暮らしている

わけです。

学歴信仰者にとってはおかしい話ですよ？

頑張っただけしてきた東大出身の勉強秀才よりも

~~~~~  
中卒のアウトローのほうが良い生活して

~~~~~  
自由に生きている。  
~~~~~

しかしこれが現実なんですね。

あくまでも学歴というのは奴隷のランクを決める制度にしか過ぎない。

それでこのサラリーマンシステムというのは  
現代の奴隷であるから  
まず

1時間的制約というのがある

ここで月間200時間くらいの人生のほとんどの時間を  
会社に拘束され

2収入は決まっていて、月収100万円、1000万円を  
サラリーマンが目指すのは至難の業

でして

さらに

3所得は給与しかなくてあってもせいぜい

100万円いかないくらいのボーナス

なわけです。

社会と経済の構造上、サラリーマンという現代の奴隷制度の  
中にいる限り

経済的に自由になる金額というのは構築できない  
仕組みになっているということですね。

そしてよくこの労働者の中で

正社員とか契約社員とかフリーターとかいて、  
正社員でも給与の良い一流企業の正社員と  
一般の中小企業の正社員がいるわけだけど

ここで高給な大体年収で1200万円くらいの  
商社とかの正社員サラリーマンは  
中小の正社員サラリーマンを馬鹿にして

そして中小の正社員サラリーマンはフリーターを  
馬鹿にするわけですね。

けど大きくは同じ穴の貉(むじな)というもので  
時間の自由度が極めて制限されてるのは一緒だし、  
(むしろアルバイトや派遣のほうが自由)

稼いでる起業家や投資家や経営者からしたら  
それはどんぐりの背比べみたいに見えてるわけです。

それでいくつもこのサラリーマンが現代の奴隷だ

という状況証拠みたいなものはあって

それが例えば「副業禁止規定」というものですよね。

これは公務員でもそうだし、会社員でも無断での

副業は禁止されているところが多くて

最近問題になっています。

それで会社員の場合、勤務時間のほかに、

もう一つ仕事を持つことは事情によっては

副業禁止の会社でも認められたりしますが

それは会社が納得する職種に限られるんですね。

これは、ネットビジネスで有名な AYU さんのエピソードが

すごい分かりやすいと私は思ったけど

あの優秀な AYU さんってのは元々あの印刷機械でも有名な

大企業にいらっしやっただけど

そこで確か居酒屋のバイトはできたはずなのに

そこでアフィリエイトで年収1億円稼いだらさすがにまずい

となって会社を辞めざるを得なくなったと。



これはどういう大企業判断があるか？ということ

私は考えるけど

基本的には副業ってのは副業完全禁止の会社でも

あくまで「雇われる立場」だったら認められたりするわけですね。

だから OL さんが夜に居酒屋で働くとかキャバで働くとか

まあそれくらいはなんだかんだばれても許容されるケースが

多いんでしょう。

しかし、たとえばその OL が

「自分がオーナーとなって自分で居酒屋を経営」

をしたとしたらこれは認められないわけですね。

これはなぜかというと自分がオーナーとなる仕事だと

効率よく儲かって奴隷として働かせにくくなるわけです。

これは私自身の事例が分かりやすいですけど

私がネットを使って投資とかビジネスで会社員時代に

稼げるようになったとき、

「もうこれで怖いものは無い」となったわけですね。

だって「クビになっても自分で稼げばいいし」の話です。

となると何でも言いますよね。

例えばパワハラと思われることを会社がやっていて  
もし自分で稼げなければクビにされたら食えなくなるから  
何もいえないものです。

しかし「自分で稼げるし」という人が従業員にいと  
そこで「おい、上司の〇〇君、パワハラはだめだよ、  
〇〇君がかわいそうじゃないか」と

大声でオフィス全体に響き渡るような声で  
上司に言うようになるわけです。

私なんかはこれは真似しなくていいですけど  
稼げるようになる前からネット業界の自分で稼ぐという傾向を  
知っていたので自分にもそれはできると確信していたので  
当時稼げるようになる前からそういうことを言っていました  
稼げるようになってからはもっと言うようになったものです。

当然、奴隷扱いしたい会社の役員は良い気分はしないですね。

自分が稼げるようになるのと我慢しなくていいですから  
なんとでもおかしいことがあれば

言えるようになる訳です。

そしてこんな従業員が大勢出てくると会社というのは  
組織として奴隷的に人々を使えなくなってきたという  
問題があります。

もし副業でその従業員が儲かってしまうと  
奴隷として働かせずらくなってしまふからだから  
それは認められないとなるのだろうと思います。

また実際にはそのビジネスで儲からないにしても  
儲かる可能性がある以上はここで許可が出せないとなる  
わけですね。

それでここでサラリーマンの人でも大企業の管理職や  
商社あたりのサラリーマンは  
「俺は高収入で貯蓄もある」というのだろうけど

奴隷かどうかというのは収入で決まるわけでもなくて

重要なのはあまり働かなくてもいいか、  
もしくは自分の働いた分をオーナー（株主もしくは役員）  
に奪われる立場でないか、という点が重要です。

ローマ時代の奴隷だって羽織の良い平民のところだったら  
美味しいご馳走を食べられたわけで

衣装もそれなりのものを買ってもらえたわけで  
そして子供も持てたし、だから性の行為もしていたわけで  
そこである程度の限られた自由はあったわけですね。

それで一方平民の自営業者だと  
高所得になりそうだったら、  
すなわち累進課税でずいぶん税金なりが  
高くなりそうだったら

役立つ物品を購入して所得をぐっと減らす  
ということを逆にします。

結果的に最新のノートPCとかスマホとか  
高級車に囲まれることになるわけですね。

また一般的に家を買うときサラリーマンだと  
ほぼ住宅ローンを組みますけど

そしてその住宅ローンは奴隷からさらに奪い取るための  
罠ですが

例えば現代の平民である起業家や投資家は

住宅ローンなんて組まずに

不動産は一括買いするわけでした

さらにその不動産も場合によっては事業所として

経費になってしまう場合もあります。

だから彼らローマ時代の平民にあたる自営業者からすると

ローマ時代の奴隷にあたる

商社の年収1200万円くらいのサラリーマンが

中小企業の年収300万円のサラリーマンをこき下ろしているのは

まさに上に書いたどんぐりの背比べに見えるわけですね。

構造的に搾取されるのが必然な環境にいるというのは

労働者である限り正社員であろうとフリーターであろうと

変わりませんので。

それでまた自営業者というのは上記かなり良い物産に

囲まれているわけですが

さらに金持ちたちは美術品が好きで骨董品からは税金は

取れませんかから美術品を買いあさるわけだけど

そこで自分のコレクションを展示する美術館なんかを  
オープンして入場料で稼いだりもするわけです。

それでこの自営業者たちってのは資産は  
金や銀や場合によっては不動産なんかにあると知っていて  
彼らはそれらの実態あるものをなんだかんだ保有しています。

この辺はブログの魔法かバラさんが詳しいんで  
時間ある人は読んでください。

<http://magicaldragon.blog.fc2.com/>

が、一般的に労働者から見た資産というのは  
銀行の資産であってデジタルであって  
単なる口座の数字なんですね。

紙幣そのものには価値はないわけで  
その価値を失わせるために作られたのが紙幣だけど  
金とか銀が無いのにそれを資産があると錯覚していたり  
するわけです。

実はこれに気づいたのが以前書いた

【4億円相当のビットコインを売って

金塊 68 キロを VIP 待遇で韓国から持ち出した日本人4人の話を考える！】

の日本人4人です。

以前の記事の PDF がこちら



【4億円相当のビットコインを売って

金塊 68 キロを VIP 待遇で韓国から持ち出した日本人4人の話を考える！】

<http://fxgod.net/pdf/money/68kilogold.pdf>



この4人はいつかこのデジタルデータの

暗号通貨は実物資産に換えないといけないと気づいていて

だから金＝ゴールドに換えてるわけですね。

それでこの

【4億円相当のビットコインを売って

金塊 68 キロを VIP 待遇で韓国から持ち出した日本人4人の話を考える！】

で最も重要なことがあって

それは「たった4億円でここまでニュースになってしまった」  
ってことです。

実は暗号通貨ではもっと10億円とか100億円とか  
暗号通貨の仮想資産を持ってる人がいるんですね。

しかし実は彼らが一番困ってるのは  
「どうやってこれを 現金だったり金地金や  
不動産に転換するか」  
ってことです。

例えば100億円暗号通貨を持ってる人がいたとして  
日本在住で  
まず日本の取引所でその含み益を利益確定して  
日本の銀行にそれを出金してとなると  
税金はなんだかんだ52億円前後でしょうか。

ほとんど持ってかれる。

しかしその膨大な金額は銀行や金融庁も黙っていませんから  
「この資金の出元はなんですか？」となって  
それが銀行の預金の数字に無事転換できるかも  
疑問です。



みんな富裕層たちはそうやって国家に資金がなんだかんだの理由で奪われるのが怖い。

だからといって海外で4億円を利益確定して下ろして

そこでなんとか銀行からも出金できたとしてもそこで金地金を68キロ韓国で買うだけで大ニュースになってしまうわけですね。

だから実際の話で暗号通貨資産が数十億円とか数百億円の人には現実問題、それをどう現物の金とか銀とか不動産とか形あるものに変換していくか、ということで大変困ってる事情があります。

あくまでデータの数字、っていうのはそういう不確実性があると。

ただ上記現代の奴隷であるサラリーマンというのは預金残高の数字にとにかくこだわるわけですが

やはり自営業者たちは金と銀なんかの実物にこだわる人は極めて多いわけですね。

こういう差もあつたりします。

それで長々と書きましたがどうも

サラリーマンというのは私自身がそうだったけど

ローマ時代で言えば奴隷に近いのではないかということでありまして

構造的にそのサラリーマン、労働者という中にいると

色々な自由が制限されるわけですね。

そして「頑張って働いたとしても」

その収益、頑張りってのは

自分の報酬になるわけではなくて

その会社の出資者である

株主の報酬になるというのが現代の株式会社制度なんです。

ちなみにこれは私の友人のもうおじいちゃんの

地上波の某局の制作会社の社長に聞いたことなんだけど

雇われ社長もやっぱり奴隷なんだそうです。

これは株式やってる人は分かるだろうけど大多数の

日本の大企業の株主の大株主欄にはその社長の名前は

ないわけです。

ちなみに、これも真実だから最後に書くけど

日本の大企業の大株主は

大体が、日本トラスティか日本マスタートラスト

です。

自動車大手企業トップの

トヨタの大株主も日本トラスティか日本マスタートラストだし

銀行業界大手トップの

三菱UFJフィナンシャル・グループの大株主も

日本トラスティか日本マスタートラストだし

生命保険トップの

日本生命保険(ニッセイ)の大株主も

日本トラスティか日本マスタートラストだし

(一応ブラザー工業が大株主だけど  
ブラザー工業の大株主が日本トラスティです)

製薬業界トップの

武田薬品工業の大株主も

日本トラスティか日本マスタートラストです。

それで実は日本の大企業の本当に過半数の

大株主は実は日本トラスティとか日本マスタートラストとか

「日本」を名乗ってるけど実際は銀行家の外資なんですね。

まあそこでモルガンとかバンガードグループとか

その辺の多国籍企業につながってくる。

ということは、

「株主のパスリが役員で、

役員のパスリが従業員(サラリーマン)」

という構造から説明すると

日本のサラリーマンというのは奴隷的に働かされているけど

---

その実は、

---

外資の銀行家の株主たちの利益のために

---

一生を捧げているということになる。

---

もし、読者さんがサラリーマンで大手企業と取引があったり

絡んでる企業があったら大株主を見る癖をつけたほうがいいです。

大体が日本の主要大企業はそれぞれ業界ごとに

トヨタとか三菱UFJフィナンシャル・グループとか

鹿島とか武田薬品とかフロントの名前は違うけど

大株主は同じです。

ってことは??

そう、多国籍企業の大株主が、フロントとして

~~~~~  
名前は違うけど様々な大企業を経営して

~~~~~  
その大企業を日本企業のように見せかけて

~~~~~  
民衆の自由や時間や労働対価を収奪してる対象が

~~~~~  
私の母国日本であります。

~~~~~  
これをうまく伝える人が多く出ないといけないのだけでも

~~~~~  
まだこのサラリーマンは奴隷であるというところの言論自体が

~~~~~  
タブーであるから

~~~~~  
まだこの構造は人々に知られていないけど

~~~~~  
やはり多くの日本の労働者というのは大きくは奴隷扱いされていて

~~~~~  
そして、その奴隷として一生働いて誰の利益に貢献してるか?

~~~~~  
というとそれは、主に銀行家や多国籍企業に対して貢献してるんです。

~~~~~  
そしてここで多国籍企業と官僚たちが結託して

~~~~~  
民衆から徹底的に搾り取ろうとしてるわけですね。

~~~~~  
こんな構造であれば日本人が貧乏になるの・・・

当たり前と思いませんか？

私は上記のような事実をずっと調べていたけど

ほんと長い時間かけて上記の事実を知ったけど

これをパッと文章でこうやって伝えられるのが言論表現の自由の強さです。

それで、昔の日本の会社というのは少し違って

いわゆる「家族経営」的なところがありました。

そこで従業員の帰属意識も生まれた。

それは集団主義的な部分だったけど幾分機能していたでしょう。

ただ外資の自由化ってのがあってそこからどんどん

日本経済というのは崩されていき、

今や大企業の主要株主は実質ほとんどが海外の銀行家です。

彼らがグーグルなんかの多国籍企業も率いてます。

情報が統制されてるのもそういう経済構造による。

そこでは当然、人材には情がいらぬ、という構造が作られるから

人材は商品になるし、まさに「生産性を生む人材」が

高く買われそうじゃない人材は安く買い叩かれるわけでした

ここで人情を持った経営者は議決権持つ株主によって  
即効首です。

それで今の日本の大企業の社長ってのは実質は  
単なる雇われ社長で、株主でもないんですね。

だから彼らもまた上級奴隷なんだといえる。

唯一奴隷じゃない社長たちってのは株式会社で言えば  
議決権を行使できる株式の大半を所有している  
創業社長たちであって

彼らは本当の自由な人たちでしょう。

私はそれを上記の友人から、  
彼の年の功として教えていただいた。

どんなにスモールビジネスでもビッグビジネスでも

~~~~~  
必ず創業社長になる、ってのが大事なんです。  
~~~~~

(株式会社なら

株式の議決権が発揮できる株数を自分が持ってなければいけない)

それで、私は何もサラリーマンをディスるために

記事書いてなくて

っていうのは私もサラリーマンだったし、  
奴隷状態だったし。

そうではなくてこれは私たちの世代の日本人が考える話として

「どうやったらこの民衆の奴隷状態を

脱却させることができるか」

を考えるのが大事になるんですね。

そのためにはやはり「自分で稼ぐ」ことができる人ってのが

もっと増えていく必要があって

すなわち彼らは大小規模を問わず

小さな事業でも大きな事業でも社長であるけど

そういう人がどんどん増えていくことが必要なわけですね。

今の日本経済というのは外資本格参入後、

大企業の大株主の実態は調べてみればほとんど外資で

名前だけ日本企業です。

ここで日本人が疲弊するのは当たり前だ。

要するにここで起こっているのは

「主要企業たち(経済における私的企業たち)のオーナーが

中央集権化している」



という問題がある。

これを経済学者は誰も言わないけど大きな問題です。

そしてそれは民衆を今の「社畜」という言葉の登場に見られるように  
民衆を疲弊化している。

だからここで「オーナーの非中央集権化」という思想が  
大事でして、

ここでまさに IT なり暗号通貨でもせどりでも

転売でもアフィリエイトでもマイニングでも

ICO でもエアビーでも、ほんと何でもいいけど

「自分の力で稼ぐ小さなオーナーである

個人事業主や自営業者層」

を広げる必要が絶対にあるってことです。

「経済の私的企業のオーナーの非中央集権化」  
~~~~~

が大事です。

すなわちオーナーが国の中にバラバラに存在する状態です。

私は理念っていうかっこいいものではないけども

思想として

やはりそれを考えていくのはこれからの日本だけにあらず

アジア圏や欧米に住んでる

民衆全体にとっては大事だと思いますよね。

それが人類が活力あって幸せに生きる方法ですから。

だから今日本の労働者という人たちが明らかに疲弊している。

金もなくなってきている。

若者は本当に貧乏。

それはやはり本質的に奴隷的構造に閉じ込められているから

であるんだけど

そこからいかに奴隷解放というとあれだけど

人々の精神を解放していくか、というのが

これからの現状を理解する民衆の課題としてあります。

そのためにはどうしても社会の本質的な構造を見破る

知恵とか洞察が必要になります。

そのために「学ぶ」ということが必要になるんです。

「学ぶ、勉強する」ってのはインテリになるためのものではない。

そうではなくて学んだ知識とか勉強した知識は  
生きるための武器になる。

私たち日本人は国家の暴政と戦うために拳銃や銃器の所持は  
禁止されているわけですが

これを抵抗権といいます、アメリカで銃規制ができないのは  
国家官僚に対する  
抵抗権という思想が憲法の修正第2条に含まれているからです。

そこを誰も右も左も不都合なので指摘しません。が事実です。

それで私たち日本人は全てを取り上げられて  
農民一揆なんかもこれ起こせない。

そこで私たちにどうも唯一残ってる武器が  
これ知識と知恵です。

思想とか知識とか知恵ってのは国家体制を超えるものですから  
それを身に着けるってのは  
人生における戦う武器を持つということと一緒にですね。

だから今日本の労働者とか民衆が奴隷状態に置かれてるに  
等しいならば

そこで知恵をつけて、知識をつけて  
対抗できる力を持つてばいいとなります。

そしてそのためにはどうしても精神的自立が必要で  
精神的自立というのは、経済的自立を基礎とするから  
やはり「自分で創業社長としてスモールビジネスでも  
ビッグビジネスでも何かビジネスなり収益でる投資ビジネスを持つ」  
ってのが大事です。

こういう人が多くなってこればそれは大きな民衆の胎動となりまして  
世の中を変えていきます。

この数年でその兆候が明らかに出てきてる。

私も昔奴隷状態でしたが、それは考え方や戦略次第で  
覆す(くつがえす)ことがどうも可能です。

そして昔のあからさまな奴隷状態は現代人からしたら  
奴隷であることは明白だけど

今のある種の新しい奴隷制度は目に見えづらい  
ステルス化した奴隷制度であるでしょう。

このステルス化した奴隷状態に気づいた若者が

「社畜」という言葉を作ったけど

この彼らの感性を甘く見てはいけなくて

やはりそこに気づいて考えていき、

人類ないしは日本民衆の奴隷状態をどうするか??

という問いかけが私たちの世代には必要だと思いますよね。

そして上記のようなことを知って

全員ではないけど感性がある人から

初めて人間というのは頭が回りだします。

ちなみに私が上に書いたけど偏差値が38とかから

倍近くになったっていうのは

こういうところへの気づきがあってそこから一気に

頭が「回りだした」経験をしてるんですね。

そして、私はこういうことを色々な人に教えてきたけど

みな同じように「回りだした」わけです。

だから人間の潜在能力はすごいものがありまして

それはちょっと脳みそをつつけば、

上記のような構造を教えてあげれば、

一気にその人の才能は開花することが多いわけです。

そしてそうやって自分で稼ぐという能力を身につける人が  
増えていって、

最終的にはそれが社会のある種の無視できない勢力になっていき  
奴隷状態から抜け出す人が増えていき

経済の私的企業(事業体)のオーナーの非中央集権化が  
進むことで

今の日本で存在するあらゆる問題が緩和されていくと  
私は分析して思想しています。

サラリーマンが現代の奴隷であるということを追及していくと  
日本の問題の本当の解決策までこうやって見えてきます。

私たちは外資の大株主が支配する大企業やそれと結託する官僚たちの  
奴隷であってはならないと思いますね、  
これからの世代の子供のためにも。

そのためには当の大人たちが

自立的に考える力を取り戻していく必要もあります。

では！

ゆう



ちなみにこの案件は思想としては私とかなり似てる人たちばかり

なんで私の読者はとっつきやすいと思います。

そろそろ奴隷も反逆を試みても良い頃合です。

【美人すぎる資産10億円のリバータリアン仮想通貨オタク女子とは？】

⇒ <http://directlink.jp/tracking/af/1497912/aGJgCtqd/>



